



天文ニュース(No.173)

2002年1月25日の土星食 2001年12月21日発行

1月25日の早朝、土星(0等星)が月(月齢11)にかくされる土星食が、中部地方から南の地方で見えます。

土星食は、2001年10月8日に東北地方から北で見えて以来です。

今回は、月が月齢11で、図のように土星が月の東側の暗い縁にかくれ、月の西側の明るい縁から出てきます。

明石では、潜入時刻が午前1時54分ごろ、出現時刻が2時25分ごろです。

この現象は、肉眼でも見えますが、双眼鏡や望遠鏡があると見やすいでしょう。

望遠鏡で観察すると、土星の環や衛星が月にかくされていくようすが見えます。

土星の本体は、見かけの直径が約17秒角です。また、環を含めると約38秒角ですので、土星の環が月の縁に接してから、すっかりかくれるまで、数分の時間がかかります。

また出現も同様です。

次回、日本で見える土星食は、2002年3月20日に関東地方から北の地域で見られます。

1月25日の土星食(明石)

